

緑丘会小樽支部 令和元年度 定時総会及び懇親会を開催

令和元年度小樽支部定時総会及び懇親会を、7月3日（水）ニュー三幸小樽本店で開催しました。小樽支部では、この定時総会と12月開催される忘年懇親会が同窓生の集まる主な行事ですが、今年は来賓・現役学生を含め80名の参加がありました。

総会は石川幹事長の司会で始まり、2年目を迎えた天野支部長より、母校のお膝元として小樽支部の活性化を積極的に図っていききたいこと、大学創立110周年記念募金の目標達成に向け会員の協力をお願いなどの挨拶がありました。その後、天野支部長は議長席に移って議案審議に入り全議案が承認され総会は滞りなく終了しました。

総会終了後、懇親会が始まりご来賓の和田学長から大学の近況、昨年の忘年懇親会から来ていただいている迫小樽市長より小樽商大と小樽市の連携をより深めていききたいこと、後援会古川常務理事（兼事務局長）より大学創立110周年記念募金等に関してのご挨拶をいただき、下斗米後援会副理事長（兼札幌支部常任幹事）より楽しい自己紹介と乾杯のご発声で笑顔いっぱいの宴がスタートしました。

懇親会では、現役学生と同窓の皆さんとふれあう機会を設ける目的で、商大学生サークル「小樽笑店」の5名（全員女性でした）を招待しました。サークル紹介では、「小樽笑店」の理念は地元小樽活性化につながるイベントを企画、地元イベントの「小樽雪あかりの路」や「otaru スイーツフェスタ」等のボランティア活動に積極的に参加していることの話がありました。小樽支部としても、今後商大卒業後も同窓の皆さん及び緑丘会活動に身近になっていただきたいと願っています。

また、今回出席者の最高齢は、昭和24年卒業の内山博俊さんですが、昭和28年卒業の米林榮夫さんとともに毎回出席していただいております。会を企画している主催者にとって大変ありがたく感謝しています。また、今年、平成31年卒業の新社会人2名（大築周平さん、樋口瑛祐さん）の他、過年度卒業の3名が新規に参加していただきました。今後も年代を超えた同窓生の交流を更に深めていききたいと思います。

閉会が近づき、第79代応援団の大坂則幸さん（平成9年卒）によりエールがきられ、校歌斉唱の後、全員でスクラムを組み「若人逍遙の歌」を大合唱し、最後に大森副支部長の締めで閉会となりました。

小樽支部としても、まずは定時総会・忘年懇親会に多くの同窓生に参加していただき同窓の輪を広げていききたいと考えています。また、他支部との交流を通じて小樽支部の活動を活発にしていく決意です。皆様のご協力どうぞよろしくお願いします。（記：石川 健）